

試験報告書2件・2004年1月20日～3月30日

FIAC・LB-30圧縮機： 運転負荷時の吐出し量が 両機とも増加

ユニパック有限責任会社（ウクライナ）・試験報告書の承認：技師長A.D.ゴレロフ、処理：XADO有限責任会社の技術者と事業所の生産技術責任者による共同実施

ウクライナ、ハルキウ州ハルキウ地区・処理：2004年1月20日・試験報告書の日付：2004年3月30日

製品

XADO技術
圧縮機を分解せずに行うピストン・シリンダ部の処理

供試機

電動機駆動装置付き
往復圧縮機2台
「FIAC」AB 500-1250、資産番号8・「LB-30」SDB-4/100、資産番号3/58

文書の種類

ユニパック有限責任会社の署名・押印付き試験報告書2件

圧縮機	測定間の運転時間	測定項目	試験報告書の日付
「FIAC」AB 500-1250、資産番号8	560 h	吐出し量（レシーバタンク充てん時間） ・各相の電流と電力・振動	2004/03/30
「LB-30」SDB-4/100、資産番号3/58	410 h	吐出し量（レシーバタンク充てん時間） ・各相の電流と電力・振動	2004/03/30

処理後の測定値は、通常運転でそれぞれ560 hおよび410 h運転した後には得たものである。「LB-30」は試験開始時点でほぼ新品であり、摩耗はわずかであった。

両圧縮機に共通した結果

↑ 9-25.5 %

負荷運転時のレシーバタンク充てん時間、256 → 204 sおよび100 → 91 s

吐出し量：既設のレシーバタンクへの充てん時間

圧縮機	昇圧範囲	処理前の充てん時間	処理後の充てん時間	吐出し量の増加率
「FIAC」 AB 500-1250、 資産番号8	0 → 10 kgf/cm ²	7 min 55 s	7 min 22 s	+7.5%
「FIAC」 AB 500-1250、 資産番号8	6 → 10 kgf/cm ² （運転 負荷）	4 min 16 s	3 min 24 s	+25.5%
「LB-30」 SDB-4/100、 資産番号3/58	0 → 10 kgf/cm ²	210 s	208 s	+1%
「LB-30」 SDB-4/100、 資産番号3/58	6 → 10 kgf/cm ² （運転 負荷）	100 s	91 s	+9%

両試験報告書とも、6 kgf/cm²から10 kgf/cm²までの昇圧を運転負荷としている。吐出し量の増加率は試験報告書の結論による。

ユニパック有限責任会社による試験報告書の結論

ユニパック有限責任会社の委員会は、圧縮機「FIAC」 AB 500-1250および圧縮機「LB-30」 SDB-4/100について、計2件の試験報告書に署名した。

- 「FIAC」 AB 500-1250、560 h運転後：「0から10 atmまでの昇圧時、圧縮機の吐出し量は**7.5%**増加し、6から10 atmまでの昇圧時（運転負荷に相当）には**25.5%**増加した」。
- 「LB-30」 SDB-4/100：「本圧縮機はほぼ新品であり、摩耗も小さいことから、運転負荷時の吐出し量の顕著な増加は認められなかった」。増加率は**1%**および**9%**であった。
- 両試験報告書は原因を同じく次のように記している：「ピストン・シリンダ部のすきまが大幅に減少し、ピストンにかかる負荷が増大した」。なお、処理は圧縮機を分解せずに行った。

XADO

© XADO。すべての権利を留保する。

本結果は、ユニパック有限責任会社の生産条件下で運転された電動機駆動装置付き往復圧縮機「FIAC」 AB 500-1250および「LB-30」 SDB-4/100に関するものである。他の機器や運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・押印のある両試験報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロードできる。